

コンストレイントと日程計算

工程's をサクサク使いこなすための**基本操作**や、知っていると役立つ**ちょっとした小技**をメールマガジン形式でご紹介します。

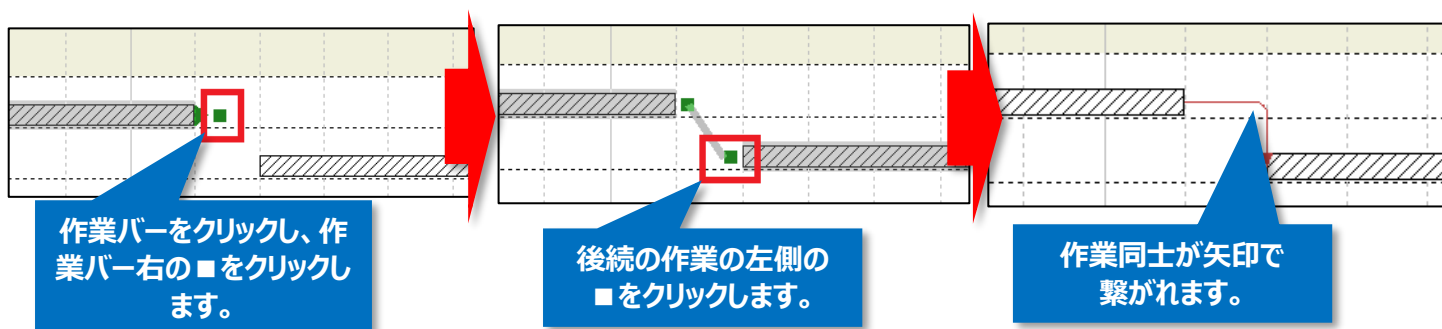
第9回の今回は「**コンストレイントと日程計算**」についてレクチャーします。

コンストレイントとは**作業の制約条件**のことであり、**実施順序**や**依存関係**を定義するものです。各作業バーにコンストレイントを引くことで、**実施順序**を設定することができます。全作業バーをコンストレイントで繋げることで、**日程計算**時にその順番が考慮されて再配置されるようになります。

1. 作業バーにコンストレイントを引く

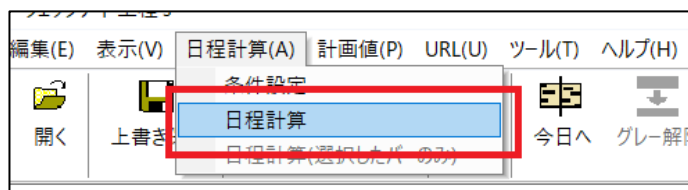
各作業バーにコンストレイントを作成し、作業順序を設定しましょう。

コンストレイントのつなぎ方は**作業の前後関係を表す 4 種類** (Start to Start, Start to Finish, Finish to Start, Finish to Finish) の繋ぎ方がありますが、今回は代表的な **Finish to Start** (前の作業が終われば、後の作業が始められる) のつなぎ方をご紹介します。



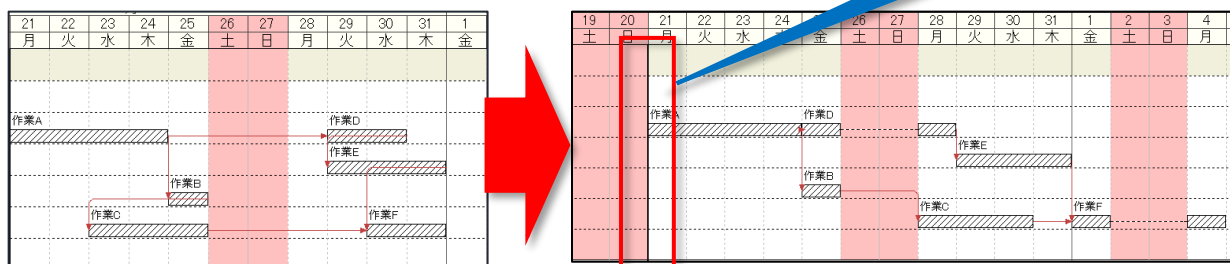
2. 日程計算を実行する

各作業にコンストレイントの作成が完了したら、[日程計算]を実行します。



現在日を基準にして、着手できる作業から前詰めで作業バーが移動します。コンストレイントを設定した作業はその制約を守って前詰めされます。

黒の太線が
現在日を表します。



「Tips」

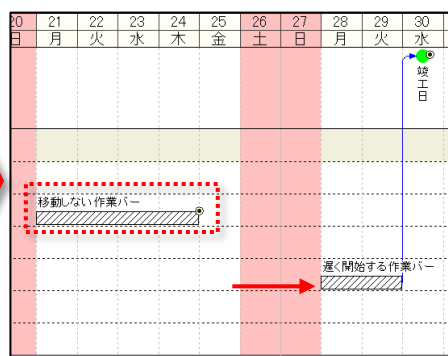
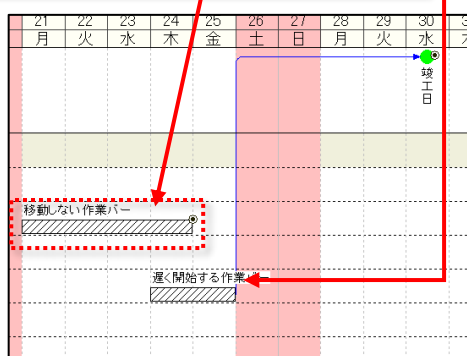
1. 日程計算で作業バーを移動させない・後ろ詰めで再計算する

各作業バーのプロパティ画面で、日程計算実行時の動きを制限・変更することができます。

備考3	
備考4	
備考5	
備考6	
備考7	
日程計算の設定	
☐ バーを移動しない	☐ 後続に影響しない範囲で遅く開始する

作業バーを固定し、日程計算実行時に移動しないようにします。

作業をできるだけ遅く開始するように、日程計算時に後ろ詰めで作業バーを配置します。納期から日程を逆算して、開始時期の検討に活用することができます。



2. クリティカルパスを表示する

クリティカルパスとは、そのプロジェクト全体の最早終了日を決定する経路のことを言います。クリティカルパス上にある作業はどれかに1日でも遅れが生じるとプロジェクト全体の終了が送れることになるため、重要な管理対象となります。

日程計算 条件	
現在日: 2017 年 8 月 21 日 (月) 0 時 0 分	OK
トータルフロートの計算基準: ☒ パスごとの終了日 ☐ 最も長いパスの終了日	
クリティカルパス	
☒ クリティカルパスを表示する	
トータルフロートの範囲	~ 0 (日)
シンボル	変更...

[日程計算]>[条件設定]から「クリティカルパスを表示する」にチェックを入れます

右の工程表では
作業 A→作業 D→作業 F→作業 G が
クリティカルパスとして表示されます。

